


監 査 報 告 書

平成28年5月23日

飯綱町社会福祉協議会

会 長 井 澤 一 夫 様

監 事 岩 下 行 雄 

監 事 小 林 秀 雄 

平成27年度飯綱町社会福祉協議会決算監査の結果を下記のとおり報告します。
記

1. 監査の対象

平成27年度飯綱町社会福祉協議会一般会計決算
平成27年度長野県共同募金会飯綱町支会決算
平成27年度日本赤十字社飯綱町分区決算

2. 監査の書類

一般会計 : 仕訳日記帳、総勘定元帳、事業収支計算書、貸借対照表、証憑書類、預金通帳、備品台帳、事業の利用状況、財産目録等
その他会計 : 証憑書類、預金通帳

3. 監査の期日及び場所

平成28年5月20日(金)
ふれあいの園 2階会議室

監査の意見

- 1) 各会計について、予算の執行状況並びに財産の管理状況につき関係書類及び証憑書類を精査した結果、収入支出とも誤りはなく適正に処理され、目的に従って健全に運用されていることを認めます。
- 2) 27年度は第6期介護保険制度改正より介護報酬基本単価が減額となり、新基準によるサービス提供体制での事業経営となりました。全国的には介護保険事業所の倒産、休業、廃業が過去最大となった年でした。厳しい状況の中、資金収支及び事業活動収支でそれぞれ黒字となり、更にあるべき健全な経理に向けて、6月の賞与引当金を積み立てることができたことは、大変評価できます。
- 3) 27年度の収益を分析すると前半は予算を上回る状況で推移しましたが、後半は利用者が減少し、予算を大きく下回りました。飯綱町の介護認定者数は微増しているなかで、利用動向の変化も考えられます。新年度に向けて早めによりしっかりとした対策を立て経営にあたってもらいたい。また、介護予防・日常生活支援総合事業への移行が間近に迫っている中で新たな介護予防事業の開発提供に向けて地域福祉推進の中核組織として社協の役割を存分に発揮してもらいたい。